

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和5年度 第18号 R6.3.26 (火)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「44期生 卒業」

3月13日(水)本校第44回卒業式を挙行いたしました。多くのご来賓、保護者にもご参加いただき、本当にありがとうございました。

この学年の子は入学当初、「歌い方を忘れた」と言っていましたが、少しずつ行動制限が緩和され、できる行事をととも大事にしてきた学年だったと思います。ここという場面での時間厳守はお見事でした。勉強に対してはなかなかエンジンがかからず心配しましたが、友達や先生に教えてもらいながら、最後には随分力をつけ、新たな世界へと巣立っていきました。また、卒業式の後も挨拶運動に参加している子がいたり、先生に会いにくる子がいたり、三中のことが好きだと思ってくれる子がこんなにたくさんいるのだと嬉しくなりました。

「我逢人」(がほうじん)これからも良い出逢いをしてほしいと願っています。

「生徒役員選挙から見える三中」

3月15日(金)来年度前期生徒役員選挙が行われました。立会演説会ほどの候補者・応援演説者も個性が出ており、立派な演説でした。また、感動したのは、演説の最初に候補者が「みなさんこんにちは」と言うと、聞いている生徒が「こんにちは」ときちんと返すということです。拍手も自然と起こります。これは全校集会の時もみられるようになりました。何気ないことかもしれませんが、こういうコミュニケーションがとても素敵なことだと思います。

「感謝」

令和5年度の通信もこれが最終号になります。通信を電子媒体で配布できるようになったおかげで修了式を終え、生徒が春休みに入っているこの時期に、卒業生を含む保護者に、この通信が届けられることは本当にありがたいです。

1年生も2年生も合唱コンクールとスポーツ大会で学年の総仕上げをしました。1年生は持ち前の元気の良さが際立っていたし、2年生は集団として個々の良さを引き出しているところが素敵でした。どちらの学年も、教師主導ではなく、生徒の運営力が育ってきたと実感できる「まとめ」であったと思います。4月になれば、またひとつ学年が上がり、新入生を迎えます。きっと、よきリーダーとして本校の中心になってくれると思います。

我々教職員は、思春期真っただ中の中学生とともに過ごし、学校でしか見られないような生徒の活躍や笑顔を見せてもらっています。また一方で、生徒たちはこの時期特有の多くの悩みを抱え、困っています。思春期とはそういうものなのですが、本人たちにとっては一大事で、相当苦戦しているようです。我々は友達や家族に言いにくいことで、教職員に話せるならば話を聞き、気持ちを楽にしたり、それを解消するための方法を一緒に考えたりしています。大人が積極的に解決してしまうと本人の解決力がつかないため、大人にも忍耐力が必要です。これからも三中は、保護者や地域の方々とともに「生徒を支える学校」でありたいと願っています。どうか今後も変わらずご協力をよろしく願います。

このような文字ばかりの通信を読んでもいただき、ありがとうございました。